

平成 23 年 8 月 6 日に栃木県大田原市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月6日14時11分頃に大田原市宇田川で突風が発生し、テントが飛散して負傷者が出るなどの被害が発生した。

このため7日、宇都宮地方気象台は、突風現象の調査のため職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象の種類は特定できなかった。

(根拠)

(特定に至らなかった理由)

- ・ 突風による被害は3か所のみであり、被害範囲の形状、被害や痕跡から推定した風向分布は判断できなかった。従って、これらから竜巻やダウンバースト等と推定できる情報は得られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の種類の特정에結びつく目撃情報や証言は得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 被害地から西約150mに位置する直近のアメダス観測所で最大瞬間風速28.9m/sを観測した。

* この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
宇都宮地方気象台 防災業務課
電話 028-635-7260